

「滝沢中央小学校建設再開」に関する住民説明会のご報告

平成28年11月10日 滝沢市教育委員会

先月、平成28年10月24日（月）公民館会場（参加者82名）、25日（火）ふるさと交流館会場（参加者61名）において、滝沢中央小学校の建設再開の住民説明会を開催しました。

教育委員会から、東日本大震災後の建設費の高騰などにより延期となっていた滝沢中央小学校について、平成31年4月開校に向けて建設を再開することについて説明しました。

今回は、当日参加された皆さんのご意見、ご質問について、主なものをお知らせします。

学区を見直す可能性はどうなりますか

学区について見直す場合、開校前に地域を交え検討をして欲しいとのご意見がありました。現時点では決定済みの学区に基づいて作業を進めていますが、当初の見込みに比べて、滝沢小学区の児童数が短期間で急増している状況があります。学区見直しについては、滝沢市新設小学校整備委員会に諮り、地域の合意を得ながら検討を進めたいと考えています。なお、中学校区は、今まで通りの学区となります。

6年生が卒業まで今の学校に通うことはできませんか

滝沢中央小学校は、開校時に1年生から6年生がそろって、みんなで新しい学校を創ることとして進めて参りました。6年生には、自分達が新しい学校を創る初代の6年生になるという思いも親御さんに育てていただきたいと思ひますし、学校でもそのように教育していきたいと思っております。

しかしながら、最後の1年間、これまでの学校で卒業したいとの思いも理解できます。このことについても滝沢市新設小学校整備委員会の意見も頂きながら、検討して参ります。

教育委託は無くなるのですか

月が丘小に通っている滝沢市在住の保護者から、盛岡市への教育委託は無くなるのかとのご質問がありました。本来、自分の住んでいる市の学校に通うのが原則ですので、滝沢中央小学校開校に伴い、平成31年4月から、盛岡市への教育委託は解消することとなります。なお、特別な事情については個別にご相談いただきたいと思います。

通学路の安全確保はどうなりますか

開校に向けて、いくつかのワーキンググループを組織し、PTA 組織や運動着などと共に、開校までの2年間で安全な通学路についても話し合いを進め、危険箇所など、公安や道路担当課等と協議しながら進めて参ります。

プールの完成が開校後の可能性があるとのことですが、プール授業はどうなるのですか

間に合わせる方向で検討を進めたいと考えています。仮にそのような場合でも、児童が夏のプール授業をしっかりと受けることのできる体制をとって参ります。

人道橋、学童保育クラブの計画は、どの様になっていますか

現在、開校に合わせて計画を進めています。

このほかにも、貴重なご意見を頂戴しました。一つ一つのご意見を大切に、滝沢市新設小学校整備委員会にも報告、検討しながら、平成31年4月に開校できるよう、進めて参りますので、みなさまのご協力をお願いいたします。

※ 滝沢市新設小学校整備委員会とは、岩手県立大学の先生を委員長として、関係する自治会長、PTA 役員、校長で組織する委員会です。